



NHK「週間こどもニュース」編集長兼キャスターを11年も担当なされて、現在ジャーナリストとして活躍中の池上彰さんによる経済講演会が町商工会主催で開かれた。政治・経済などのニュースをこども達にわかりやすく伝える切り口にいつも感心していたので聴講してみた。

ライブドア事件が起きたせいか町民の関心も高まったようで、会場は満席になり熱気に包まれた。60歳以上の視聴率が20%を超え、「週間老人ニュース」の趣きも出てきたとのジョークには会場は爆笑の渦。生放送のためこども達から予期せぬ質問が飛び出し、毎週スリルとサスペンスの連続だったそうだ。新潟で地震が起きた時は、「地震はプレートが動いて起きるんだよ」と説明したところ、こどもから「それではプレートはどうして動くの?」と質問された。準備をしていなかった池上さんは「マグマが動くためプレートも動くんだ」とうっかり答えてしまった。後日専門家から「あれはマグマではなくマントルですよ」という指摘を受けてしまったそうだ。学者や専門家の方々までが、この番組に関心を持っていたことに改めて驚かされると共に、他のニュース番組の難解性を痛感したとのこと。

いよいよ講演は本題に。話題のライブドア事件をこどもニュース風の切り口でわかりやすく解説して頂いた。以下要約。

「ライブドアは短期間で急成長をとげました。でもその裏に何があったのか。ポイントは株です。株は売ったり買ったりできます。みんなが欲しがる株の価格は上がります。多くの人を買えるように株を分けて売ると更に値が上がります。その株を交換すると少ない株で他の会社を買収することができます。これまでの会社は、製品やサービスを開発してお金を儲け、その結果株価が上がって会社の時価総額が上がりました。でも堀江前社長は時価総額をもっと上げようと「会社は黒字でうまくいっています」「新しい仕事を始める」と、虚偽の発表をして株価を上げようとした疑いで逮捕されたのです。ライブドアの今の株価は、経済学では「合成の誤謬」と言い、一人ひとり正しい行動でも皆がやると間違いになる。株が値下がりしそうだからその前に売ってしまう。個人にとっては合理的な方法ですが、それを全員がやれば株価が下がってしまうことになる。皆が一斉に売り、買う人がいなくなれば値がつかなくなり株価は暴落し続けます」

わかりやすく、ユーモラスに、時には難しく。私は池上さんの話に引き込まれ楽しく聞くことができた。土曜日の夕方、「週間こどもニュース」を改めて見てみた。やはりライブドアのニュースだった。期待していた(?)ハプニングは起きなかったけれど理解することができた。

昨年から、こどもへの犯罪・耐震偽装・官製談合・東横イン問題など暗いニュースばかりの毎日だ。自分だけが良ければ何をしても許される世の中にだけはなあってほしくないものだ。



杉本智恵子